

第6章 課題への対応と計画の目標像

6.1 自転車に関わる現況の課題

第2章から第4章より得られた、本市の「自転車のまち」推進にあたっての課題は以下の通りです。

「自転車のまち」推進にあたっての課題

【前計画の取組状況からみた課題】（第2章）

- a 交通事故削減に向けた安全な自転車走行空間整備，交通安全教育の充実
- b 通勤・通学，買物等の日常生活及び観光などの余暇活動における自転車利用の促進
- c 市民ニーズを踏まえた自転車関連施策の推進及びPR強化

【自転車に対する市民意識からみた課題】（第3章）

- d 自転車を安全・快適に利用できるレンタサイクル，自転車走行空間整備，駐輪場整備
- e 自転車の交通ルールやマナーの向上
- f ジャパンカップの認知度や自転車に対する健康意識を活かした利用促進

【自転車を取り巻く環境変化からみた課題】（第4章）

- g 身近な交通手段としての利便性・安全性の向上
- h 自転車を活用した健康増進・観光振興
- i 新たな視点への対応（自転車のIoT化，サイクルツーリズム等）



6.2 課題への対応と今後の方向性

本市の「自転車のまち」推進にあたっての課題や目指すべき「自転車のまち」の姿から、本計画の検討の方向性を取りまとめました。

課題への対応

	取り組み内容(一例)	課題との対応
基盤整備 (ハード)	自転車ネットワーク整備	a, b, d, g, h
	LRT停留場や主要バス停付近の駐輪場整備	b, d, g
	駐輪場等へのICカード導入	b, g, i
	シェアサイクルの導入	d, g, h
意識醸成 (マインド)	自転車利用ルールの周知・啓発	a, e, g, i
	自転車通勤の促進	b, h
	自転車を活用した市民の健康増進	f, g, h
機会提供・PR (ソフト)	ジャパンカップの開催・魅力向上	c, f, h
	サイクルスポーツの振興	b, f, i
	サイクルツーリズムの推進	b, h, i
	自転車関連施策や「自転車のまち」のPR	a, c, e
	宮サイクルステーションの充実	f, h, i

総括(取り組みの方向性)

○ 自転車を利用する「基盤づくり」・「意識の向上」・「機会の提供」の取り組みを効果的・一体的に推進

これまでの取組状況や市民ニーズ、自転車を取り巻く環境変化から導出した課題(自転車の安全性向上や利用促進、自転車を活用した健康増進・観光振興など)に対応した計画推進を図るため、自転車を安全・快適に利用できる「基盤づくり」と一人ひとりが安全・安心に自転車を利用するための「意識の向上」、様々な場面で自転車を活用できる「機会の提供」の施策・事業を効果的に組み合わせながら一体的に推進する必要があります。

計画の目標像

○ NCCの移動を支え、誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」の実現

自転車を活用したまちづくりのフロントランナー都市として進めてきた取組の継続・拡充を図りながら、自転車に対する市民ニーズへの対応や国・県の動向、周辺市町との広域連携など自転車を取り巻く環境変化に対応した施策の見直しを進め、NCCにおける市民や来街者の移動手段として、通勤・通学、買い物などの日常生活に加え、サイクリング・健康づくりなどの余暇活動を楽しむツールとしての自転車利用など多様な場面で自転車が活用され、誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」を実現します。

